

事業番号	10 04 04	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の豊かな森林づくり推進事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	
		実施期間	S41 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 県内民有林66万1千haのうち、公的に管理する森林18万4千ha、里山として管理する森林6万8千ha、林業振興に取り組む森林12万4千haについて、計画的な森林整備(間伐等)に努めている。[H29年度 間伐見込み 9,500ha] 本格的な主伐期を迎え、今後は再造林面積の増加が見込まれている。171ha/年(H27)→600ha/年(R4) 既存採種園を更新するなど安定して優良な種子を採取し、苗木を供給できるよう努めている。[H29需給量見込み 100万本] 森林の有する多面的機能等への理解を深め、森林を守り育てる県民意識の醸成に努めている。[H29年度戸隠森林植物園・森林学習館利用者アンケート 理解役立ち度 90%] 林業公社への貸付金について、公社が行った平成24年度の長期収支予測では、令和58年度末の累積の公社損益107億円が県に返済できなくなる恐れがあるため、「経営改革プラン」に基づく経営改革を推進し、県民負担を軽減するための取組を進めている。 	30年度決算額	4,221,057 千円
		職員数	20.10 人
目指す姿	計画的かつ適切な森林整備を推進することで、森林の有する多面的機能(県土保全、水源涵養、地球温暖化防止、林産物の供給等)の増進を図るとともに、防災・減災及び多面的な森林資源の活用を図るため地域ぐるみで里山林等の整備を進め、森林を健全な姿で次の世代に引き続く社会を目指す。また、森林資源の利用とともに適切な更新を図るため、再造林の推進及び植栽に必要な優良苗木の確保に努めるほか、緑化思想の普及啓発のため森林環境教育を行う県民の森等を管理運営し、県民が協働して森林を守り育てる意識を醸成する。 (主な実施内容: 間伐や再造林等森林整備の計画的な推進、優良苗木の需給調整 など)		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況					
					No	成果指標	29年度	30年度		
前年度繰越	1,710,145	1,897,110	2,017,204	目標値				成果	達成状況	
事業 コスト	予算額	当初予算	4,549,177	4,180,121	4,133,374	① 間伐面積(ha)	9,029 ha	9,300 ha	集計中 (9月下旬)	
		補正予算	37,698	252,906	0					
		合計(A)	6,297,020	6,330,137	6,150,578					
		一般財源	1,366,372	1,273,145	1,591,887					
	Aの財源	県債	0	0	0	② 再造林面積(ha)	-	280 ha	191 ha	未達成
		国庫支出金	3,619,309	1,868,810	3,075,205					
		その他	1,311,339	1,038,166	1,483,486					
		決算額(B)	4,139,296	4,221,057						
	概算人件費	職員数(人)	20.10	20.10	20.20	③ 林業用苗木需給量(本数)	101 万本	100 万本	集計中 (10月下旬)	
		概算人件費(C)	162,850	165,182						
概算事業費(B(A)+C)		4,302,146	4,386,239	6,150,578						
備考					成果指標設定理由	① 健全な森林を維持するため、計画的な実施等が必要な間伐面積を設定(長野県総合5か年計画) ②③ 主伐期を迎えた森林を、必要な時期に、確実に更新を進めるため、再造林面積及び優良な苗木を確保する需給量を設定 ④ 県民が協働して森林を守り育てる意識の醸成のため、戸隠森林植物園・森林学習館利用者アンケートの森林・林業への理解の役立ち度を設定				

目標に対する成果の状況	① 間伐面積(ha)は、現在集計中 ② 再造林面積は目標の280haに対して191ha(達成率68%)の実績となり目標値は下回ったが、主伐期を迎えた森林を確実に更新させていくために計画的な森林整備の推進に努めたい。 ③ 林業用苗木需給量(本数)は、現在集計中 ④ 森林・林業への理解に役立ち度(アンケート)目標90%に対して85%(達成率94%)の実績となり目標値は下回ったが、これまでの取組みにより、県民が協働して森林を守り育てる意識の醸成は図られてきていると考えられることから、引き続き、森林環境教育を推進することで、意識の醸成を図りたい。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
① 事業の早期執行 ②③ 今後、増大する見込みのある再造林に対応するため需給調整の精度向上 ④ 戸隠森林植物園・森林学習館の利用者の確保	① 計画的かつ効率的な執行で必要な森林整備を実施 ②③ 必要な苗木を確保するため、関係機関と需給調整方法の検討など必要な対策を行う。 ④ NPO法人やボランティア団体とイベント共催等による協働を進め、利用者の増加に取り組む。	

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		信州の森林づくり事業	森林の有する県土の保全、水源の涵養等の多面的機能の維持・増進を図るため、適切な森林整備(間伐等)を計画的に実施した。(面積集計中)	13.10	2,502,357	2,620,058	2,440,726
2		みんなで支える里山整備事業	防災・減災及び多面的な森林資源の利活用を図るため、里山林等で地域ぐるみの整備を支援した。(面積集計中)	3.30	442,754	373,523	286,550
3		低コスト造林一貫作業システム導入促進モデル事業	主伐から再造林(植栽)までの作業を一貫して行うことにより、造林経費の低コスト化を図る一貫作業システムの普及促進を図るため、モデル地域で必要なデータ収集を委託した。	0.30	4,998	4,093	398
4		林業用優良苗木生産指導事業	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、優良種子の確保、指定採取源からの種子採取、優良苗木の生産指導、需給調整を行った。	2.20	14,326	14,244	17,726
5		林業公社貸付金	「経営改革プラン」に基づく経営改革推進のため、分収林事業の見直しを進め、必要な経費の貸し付けを行った。	0.20	1,187,875	1,184,797	1,360,832
6		森林整備合理化計画推進事業	「経営改革プラン」に基づく経営改革推進のため、公社が借り受ける有利子資金に対して国の規定に基づき、一定の利子助成を行った。	0.20	11,375	10,989	11,052
7		信州森の小径整備事業	—	0.10	0	0	0
8		地球温暖化防止吸収源対策推進事業	民間企業等のCSR活動を「見える化」するため、「森林の里親促進事業」で間伐等を実施した森林のCO2吸収量を県が評価・認証した。	0.10	471	129	375
9		緑化推進事業	健全な森林を維持し、緑豊かな郷土とするため、一般県民参加のもとで植樹活動を実施し、緑化の重要性についての啓発を行った。	0.20	2,310	1,997	2,310
10		県民の森管理事業	県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため、県下2箇所での県民の森を管理運営した。	0.20	4,688	2,828	2,893
11		戸隠森林植物園・森林学習館管理事業	森林体験や森林学習を通じて、森林・林業に対する理解を深めるため、施設の管理運営とイベント開催等の事業を行った。	0.10	7,997	7,916	9,542
12		森林災害予防普及啓発事業	林業者の経営安定につながる森林保険加入促進のため、普及啓発物品の作成・配布及び林業業界誌に広告を掲載するなど広報活動を行った。	0.10	970	485	485
13		グレースの森創生事業	—	0.00	0	0	485
合計				20.10	4,180,121	4,221,057	4,133,374

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	信州の豊かな森林づくり推進事業			部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度			
							当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)
1	信州の森林づくり事業	公共事業・県単事業	補助金	森林の有する県土の保全、水源の涵養等の多面的機能の維持・増進を図るため、適切かつ計画的な森林整備（間伐等）を支援する。	森林の有する県土の保全、水源の涵養等の多面的機能の維持・増進を図るため間伐を実施（集計中）	計画通り○	2,630,396	3,402,189	2,502,357	252,906	2,620,058
2	みんなで支える里山整備事業	防災減災の為の森林整備・県民協働による里山整備	補助金	防災・減災及び多面的な森林資源の利活用を図るため、里山林等における地域ぐるみの整備を支援する。	防災・減災及び多面的な森林資源の利活用を図るため、里山林等における地域ぐるみの整備を支援（集計中）	計画通り○	684,020	442,754	442,754		373,523
3	低コスト造林一貫作業システム導入促進モデル事業	一貫作業システムの普及に必要なデータ収集委託	委託	県下5か所の民有林で、主伐から再造林までの施業を低コストで一貫して行い、普及・定着を図るためのデータ収集を行う。	県下5か所の民有林で、主伐から再造林までの施業を低コストで一貫して行い、普及・定着を図るためのデータ収集を行った。委託先：南佐久中部森組、佐久森組、信州上小森組、飯伊森組、北信木材生産センター（協）	計画通り○	4,998	10,398	4,998		4,093
4	林業用優良苗木生産指導事業	種子採取事業・スギミニチュア採種園造成事業	委託	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、優良な種子を確保するとともに、需用増が見込まれるスギの採取園を造成する。	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、優良な種子を確保するとともに、需用増が見込まれるスギの採取園を新規造成した。	計画通り○	4,859	5,904	5,269		5,249
4	林業用優良苗木生産指導事業	林木品種改良事業・カラマツ採取園整備事業	直接	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、既存採取園の母樹の更新や特定母樹の導入等を行う。	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、既存採取園の母樹の更新や特定母樹の導入等を実施	計画通り○	4,114	4,157	4,157		4,095
4	林業用優良苗木生産指導事業	林業種苗生産対策事業・コンテナ苗生産基盤事業	補助金	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、種苗表示検査や低コスト苗木の生産基盤整備を支援する。	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、種苗表示検査や低コスト苗木の生産基盤整備を支援を実施	計画通り○	4,955	4,900	4,900		4,900
5	林業公社貸付金	林業公社貸付金	貸付金	「経営改革プラン」に基づく経営改革推進のため、分収林事業の見直しを進め、必要な経費の一部の貸し付けを行う。	「経営改革プラン」に基づく経営改革推進のため、分収林事業の見直しを進め、必要な経費の一部の貸し付けを実施。	計画通り○	1,182,695	1,192,013	1,187,875		1,184,797
6	森林整備合理化計画推進事業	森林整備合理化計画推進事業	補助金	「経営改革プラン」に基づく経営改革推進のため、公社が借り受ける有利子資金に対して国の規定に基き、一定の利子助成を行う。	「経営改革プラン」に基づく経営改革推進のため、公社が借り受ける有利子資金に対して国の規定に基き、一定の利子助成を実施	計画通り○	11,597	11,375	11,375		10,989
7	信州森の小径整備事業	森林フィールド整備	交付金	—	—	未実施×	4,590	7,500	0	0	0
8	地球温暖化防止吸収源対策推進事業	長野県の森林CO2吸収評価審査委員会の開催に要する経費	直接	民間企業等のCSR活動を「見える化」するため、「森林の里親促進事業」で間伐等を実施した森林のCO2吸収量を県が評価・認証する。	民間企業等のCSR活動を「見える化」するため、「森林の里親促進事業」で間伐等を実施した森林のCO2吸収量を県が評価・認証を実施	計画通り○	471	471	471		129
9	緑化推進事業	ふるさとの森林づくり県民の集い推進事業	直接	ふるさとの森づくり県民の集い（県植樹祭）を開催する	ふるさとの森づくり県民の集い（県植樹祭）を平成30年6月2日に実施	計画通り○	1,293	1,280	1,280		967
9	緑化推進事業	温暖化対策協働活動推進事業	補助金	市町村等による植樹・育樹活動の支援（補助金交付先はふるさとの森づくり県民の集い地区実行委員会）を行う	市町村等による植樹・育樹活動の支援（補助金交付先はふるさとの森づくり県民の集い地区実行委員会）を実施	計画通り○	1,004	960	960		960
9	緑化推進事業	日本さくらの会負担金	負担金	公益財団法人日本さくらの会の賛助会員会費を負担する	公益財団法人日本さくらの会の賛助会員会費を負担実施	計画通り○	70	70	70		70
10	県民の森管理事業	県民の森管理事業	直接	県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため、県下2箇所の県民の森を管理運営する。	県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため、県下2箇所の県民の森を管理運営	計画通り○	2,893	5,173	4,688		2,828
11	戸隠森林植物園・森林学習館管理事業	森のまなびや活用促進、機器更新等	直接	戸隠森林植物園・森林学習館（長野市）の活用促進のためのイベントを年1回開催するほか、学習館情報サロン設置機器の更新等を行う	戸隠森林植物園・森林学習館（長野市）の活用促進のためのイベントを年1回開催するほか、学習館情報サロン設置機器の更新等を実施。	計画通り○	1,985	429	429		348

事業番号	事業名	信州の豊かな森林づくり推進事業				部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			
10 04 04												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
11	戸隠森林植物園・森林学習館管理 事業	植物園・森林学習館管理業務委託	委託	戸隠森林植物園・森林学習館の維持管理を長野市へ委託 する	戸隠森林植物園・森林学習館の維持管理を長野市へ委託	計画通り ○	7,782	7,568	7,568		7,568	
12	森林災害予防普及啓発事業	森林災害予防普及啓発費	直接	林業者の経営安定につながる森林保険加入促進のため、 普及啓発物品の作成・配布及び林業業界誌に広告を掲載 するなど広報活動を行う。	林業者の経営安定につながる森林保険加入促進のため、 普及啓発物品の作成・配布及び林業業界誌に広告を掲載 するなど広報活動を実施	計画通り ○	970	970	970		485	
13	グレースの森創生事業	グレースの森創生事業	補助 金	—	—	未実施 ×	485	0	0	0	0	
合 計							4,549,177	5,098,111	4,180,121	252,906	4,221,057	